

お 知 ら せ

平成30年3月26日
公益財団法人 新技術開発財団
東京都大田区北馬込 1-26-10
電話(03)3775-2021(代)

創立 50 周年を機に「市村清新技術財団」に改称

～新たに環境に関する顕彰事業と助成事業を立上げ～

公益財団法人 新技術開発財団(会長:桜井正光)は、平成30年12月に創立50周年を迎えることとなりました。これを機に、名称を2018年(平成30年)4月1日に「市村清新技術財団」に改称します。また、環境に関する新たな顕彰事業と助成事業を立上げ、2018年(平成30年)10月から募集をする予定です。

1. 財団名の改称

創立50周年を機に名称を「新技術開発財団」から「市村清新技術財団」に改称します。新しい名称の趣旨は、1968年12月16日に逝去した財団創立者・市村清の名前、思想、偉業を後世に残すことと、当財団の設立主旨をわかりやすくし覚えやすくすることです。

2. 環境に関する顕彰事業と助成事業の立上げ

当財団は、1968年(昭和43年)12月12日に「リコー三愛グループ」各社を統括する市村清の提唱により創立されました。それ以来、科学技術の研究開発に対する助成、すぐれた科学技術の顕彰および国際交流の促進、科学技術に関する創造性の育成、植物の生育に関わる研究に対する助成などによって科学技術の振興をはかることにより、我が国の経済社会の発展と国民生活の向上に寄与することを目的として活動してまいりました。

一方、現在の国際社会においては地球温暖化防止を中心とした地球環境保全が最重要課題の1つとして顕在化しております。そして2016年11月にパリ協定が発効されたことで「脱炭素社会」の実現に向けて各国がスタートを切りました。このような状況の中、当財団は地球温暖化防止にフォーカスした研究開発と技術開発に対して新たに顕彰事業と助成事業を行うことで、課題を解決する技術革新に貢献していきます。

<事業の概要>

- 市村地球環境賞

地球環境保全技術に取り組み、顕著な成果を出した大学並びに研究機関の技術研究者又はグループ(市村地球環境学術賞)、及び主に企業の技術開発者又はグループ(市村地球環境産業賞)を顕彰します。

- 地球環境開発助成

地球温暖化対策に取り組む中小企業に対し、実用化開発に向けた開発試作を助成します。

- 地球環境研究助成

地球温暖化防止に関わる研究開発に取り組む研究者に研究助成します。